

令和 8 年 4 月 21 日



## 守山市 記者提供 資料

担当部署 市民協働課  
 担当者 杉本（悠）、奥野  
 電話 077-582-1148  
 FAX 077-582-0539

### 地域で創る魅力ある自治会づくりを応援！ 令和 8 年度「わ」で輝く自治会応援報償事業を実施します ～制度やメニューを大幅にリニューアル！地域の負担も軽減～

本市では、平成 23 年度に自治会による地域の特色を活かした課題解決のための取組や地域の絆を大切にする自主的な活動を支えることを目的とした『「わ」で輝く自治会応援報償事業』を創設し、自治会の取組を促進してきました。

守山市長期ビジョン 2035 に掲げた『私の想いがかなうまち』の実現に向け、地域の自主的な活動をさらに応援するため、制度を改正しましたので情報提供いたします。

#### 1 事業名 令和 8 年度「わ」で輝く自治会応援報償事業

#### 2 制度の概要

守山市内の全 71 自治会を対象に、「魅力発見」「施策連動」「啓発」「学習会」の 4 テーマに基づくまちづくり活動へ報償金を交付し、自治会独自の取組を支援します。

#### 3 補助金対象事業

#### 4 申請方法

- (1)自治会毎に地区会館に対し、書面または専用ホームページにより申込  
 (2)詳細については専用ホームページおよび『自治会向け手引き』をご覧ください。



本事業の専用ホームページ URL :

<https://www.city.moriyama.lg.jp/machikankyobousai/chiikicommu/1002162/1006839/1005715/1005722.html>

#### 5 制度改正のポイント

自治会の事務負担軽減や特色ある取組を支援するため 3 点のポイントで制度改正

改正ポイント	令和 7 年度以前	新制度（令和 8 年度）
主体性	自治会独自の取り組みを 2 事業まで申請可能	自治会独自の取り組みを 10 事業まで申請可能
継続性	通年実施の取組も報償額は一律	継続加算を創設し、年間を通じて実施される事業に報償額を加算
シンプルな手続き	分野ごとの 9 メニューを設定 事務作業が煩雑	手法に応じた 4 メニューを設定 書式の簡略化

#### 6 例年の申請実績

令和 5 年度：71 自治会/報償額 20,780 千円

令和 6 年度：71 自治会/報償額 21,680 千円

令和 7 年度：71 自治会/※実績取りまとめ中



【補足説明資料】

1 補助対象となる事業メニューや助成金額

カテゴリ	報償額	事業事例
魅力発見	●1事業につき2万円 最大10事業/上限20万円	菜の花プロジェクト、漁業体験&サンセットクルーズ、みんなで朝ごはん会
施策連動	●通年事業2万円	登下校見守り、地域パトロール、美化活動
	●単発事業1万円 <small>※ただし、要件を満たす場合加算1万円</small>	危険箇所点検、図上訓練、年末夜警、集積所の立会啓発、こども食堂
	●バス事業 種類等による	バス借上げ等による自治会員交流
啓発	●1事業1万円 最大8事業/上限8万円	自転車の交通安全啓発、正しいごみ・資源物の出し方、ペットマナーアップ
学習会	●1事業1万円 最大5事業/上限5万円	避難行動要支援者に関する学習会、健康教室の開催、「ほたる」に関する学習会

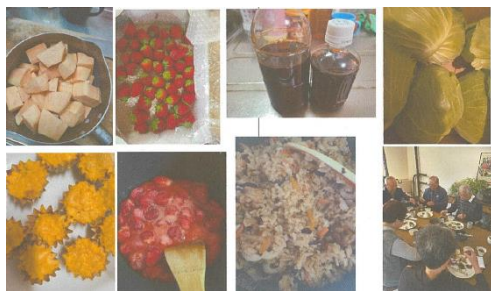
2 本事業に関するスケジュール

- 5月 各自治会に対して順次申請手続き案内
- 7月31日(申込期限) 自治会単位で各地区会館に対して計画申請
- 令和9年4月15日まで 事業実績報告
- 市により検査の上、指定口座に報償金を支払い

3 例) 魅力発見の自治会の取組み事例紹介

事例① 西町みんなで朝ごはん会

自治会名：吉身西自治会  
 実施期間：月1回  
 食品ロスの削減につながる取組みとして、自治会館で余った食材を回収し、高齢な自治会員に配布したり、地域食堂を開催



事例② 赤野井湾漁業体験&サンセットクルーズ

自治会名：赤野井自治会  
 実施期間：令和6年8月11日  
 雄大な自然に囲まれた琵琶湖や魅力的な資源を通して、琵琶湖の魚、環境について楽しみながら学べる機会を創る



事例③ 菜の花プロジェクト

自治会名：勝部自治会  
 実施期間：令和6年11月から令和7年5月  
 「勝部の火祭り」に使用する菜の花を観測し、祭りについての理解を深めるとともに、町内を菜の花でいっぱいにして地域への愛郷心を育む



事例④ 街角ミーティング

自治会名：新庄自治会  
 実施期間：令和7年1月から2月  
 住民と自治会役員との意見交換、情報交換の場を設け、自治会活動の課題や問題点を明らかにし、今後の円滑な自治会運営につなげる

